

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 子育てサポートくっく

公表日 2026年 2月 23日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容を工夫したり、自由時間は室内と園庭に分かれて活動したりしています。	親子登園の時や、きょうだい児も一緒にいる時は狭く感じることがあるかもしれません。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○		指定基準以上のスタッフを配置し、より細かな支援が行えるようにしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		掲示物をなるべく置かないようにして、活動中に興味がないよう工夫しています。 注意喚起に関しては、子どもでも「見てすぐに分かる」ようにイラストで示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動後は必ず掃除、消毒を徹底して行っています。スペースに合わせた活動を取り入れてたり、柱にタオルを巻いたりしています。	プレイルームに柱があるので、活動がやりにくいことがあります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集団での活動が難しいお子さまに対しては、個室で個別スタッフが付き添って支援することがあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月の職員会議や、活動後の振り返り等で業務改善の実施、報告を行い改善につとめています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回、保護者向け評価表を用いて行っています。意見箱を設置し、日頃の支援の中で保護者からの意見を聞いて改善につとめています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎回、支援提供後に振り返りを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、外部の第三者評価は受けていませんが、必要に応じて対応していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		関係機関主催の研修等にスタッフが満足なく参加できるようにしています。 毎月の1回、臨床心理士の先生を講師にお招きして、ケース検討やロールプレイ等の研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月のおたよりに遊びの5領域を掲載して配布しています。支援プログラムもホームページ等で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		年に2回、保護者との面談の際にアセスメントを実施しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成時に現場のスタッフから聞き取りをしたり、職員会議や研修の際にケース検討会を行ったりしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援前の打ち合わせの際に対応について共有し、実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			心理士が不在のため、心理検査等が必要な場合は療育センターや民間の医療機関での検査をお願いしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援計画はガイドラインに沿って作成し、「本人支援」、「家族支援」、ケースによっては「移行支援、地域支援」の項目を必ず設け、できるだけ具体的に記載するようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		現場スタッフを交えて、毎月季節に合った活動や支援プログラムの内容に沿った活動を立案しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	固定しないよう工夫はしていますが、難しい場合があります。同じ中身になりがちですが、目的を定めたり、繰り返し行うことで定着していくこともあると考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	集団での活動参加が難しいお子さんに関しては、保護者の同意を得て別室での個別活動も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援前に必ず打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援後に必ず振り返りを行い、スタッフ間で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	児童記録、活動記録、振り返りの議事録等記載し、改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		スタッフ全員でモニタリングを行う時間が作れていないため、今度工夫していきたいです。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	基本は児童発達支援管理責任者が参加し、担当スタッフが同席することもあります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		そのような機会があまりありませんが、必要な時は連携していきたいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	併行利用に関しては送迎の際に園の先生と連絡を取り合ったり、必要であれば園を訪問して支援についての話し合いを行ったりしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者や学校からの要望があれば行っています。年長児は必ず移行支援シートを作成し、保護者を通して相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。	○	地域の児童発達支援センター主催の勉強会には毎回参加しています。	参加の機会が増えれば、助言を受ける機会も増えるかもしれません。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		事業所が主体となって交流会を行ったことはありませんが、園外活動で近所の保育園と一緒に、交流を持ったことは何度かあります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	LINEを使用し、写真を送ったり様子を伝えたりして共通理解を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	定期的に臨床心理士を講師としての勉強会を実施しています。	就労中の保護者の増加に伴い、参加者が減っています。開催の日時や頻度を検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	入園時に必ず保護者へ説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	年に2回必ず保護者と面談を実施し、家族の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	保護者に毎回説明と同意を得ています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		親子登園の方は会う機会が多いので、登園の時に話を聞いたり相談に乗ったりしています。	分離登園の保護者との連携の取りづらさを少し感じています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子登園、兄弟登園可としているので、登園日が合えば兄弟同士で交流する機会あります。	昨年2月に久しぶりに保護者会を実施しました。卒園の保護者も招いて実施したので、小学校のことなどたくさん話ができてよかったと好評でした。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談には迅速に対応できるよう、体制を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のおたよりと、ホームページやInstagramを活用して活動の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報と写真記載については、入園時に説明と同意を必ず行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		難聴のお子さまに対して、透明のマスクを利用したりジェスチャーやハンドサインを用いて対応しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を回っているか。	○		不定期ではありますが、「地域開放デー」と称して地域のお子さまのいらっしゃるご家族に遊びに来ていただく機会を設けています。	広報の仕方や日程など工夫し、より多くの地域の方にお越しいただきたいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアル作成はしていますが、家族等への周知が課題です。分離登園の保護者の方への周知方法を考えていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		登園日が子どもによって違うため、訓練に参加できていない児童、保護者もいます。全員が漫然と参加できるよう、今後工夫していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		入園時のインテーク資料に記載する欄を設けており、スタッフで共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在は対象児童がいませんが、もしいらっしゃった場合はそのように対応します。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に沿って外出や活動を計画し、安全管理に十分配慮した上で活動を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			今まで家族にすぐ連絡するまでのケガや事故等はありませんが、起こった時のことを想定して保護者への周知方法を考えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、振り返りの時と園園にてスタッフ全員で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在は対象児童がいませんが、もしいらっしゃった場合はそのように対応します。	